

平成30年度 二期入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 14
千葉県立泉高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のすべてを目指す生徒 ア 基本的な生活習慣を確立させること。 イ 本校入学後、学習活動・部活動・特別活動等に意欲的に参加して自己を磨くこと。 ウ 進路の実現に向けて、積極的に学校生活を送ること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	3教科（国語・数学・英語）の成績を資料とする。
(2) 調査書	全教科の評定を含む記載事項を資料とする。
(3) 面接	評価者3名。面接時間5分程度。 評価項目の各評価を基にして、ABCの3段階で評価する。
(4) 志願理由書	記載内容を資料とする。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査（各教科100点満点）

評価項目	評価基準
3教科の得点合計	3教科（国語・数学・英語）の得点の合計により評価する。 0点の教科がある場合は、慎重に審議する。

(2) 調査書（合計230点満点：アについて180点満点、イからエについて上限50点）

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	1・2年次全教科の評定を合計した値と、3年次全教科の評定の合計を2倍した値との合計値で評価する（算式1は用いない）。 評定1がある場合は、慎重に審議する。
イ 出欠の記録	皆勤について評価する。3年間で30日を超える欠席は、慎重に審議する。
ウ 行動の記録	○の数を評価する。○の数が2個以下の場合は、慎重に審議する。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	部活動、生徒会役員、学級委員長、各種検定等について評価する。
オ 総合所見	特に意欲的な態度や、優れた活動内容等について参考とする。

(3) 面接

ア～オの評価項目の評価を基にして、ABCの3段階で評価する。

評価項目	評価基準
ア 意欲	高校生活への意欲的な姿勢が感じられる。
イ 服装	頭髪・服装が端正で乱れない。
ウ 態度	礼儀正しく、落ち着きのある態度である。
エ 言葉遣い	丁寧な言葉遣いをする努力が感じられる。
オ 応答の的確さ	質問の内容に見合った答えができる。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
志願理由	本校入学の意志について確認し、総合的に判断する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の期待する生徒像に基づき、面接の評価により3つのグループに分け、それぞれのグループで学力検査3教科の得点と調査書の得点の合計により順位をつけ、志願理由書の内容を加味して総合的に判断する。なお、調査書の記載内容、学力検査の個々の教科の得点、面接検査の結果等について問題があるときは審議する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度卒業者については、別途、個人面談を行う。